

刊 行 の こ と ば



2011年度を振り返りますと、3月11日に発生しました東日本大震災を忘れることはできません。今なお被災地では、多くの方が避難生活を余儀なくされ、多くの問題に向き合う日々が続いています。

当院においても、電力不足や物資の供給制限の影響から、大規模改築工事の日程に遅れが生じました。幸い、2012年1月には新棟第Ⅰ期工事竣工（同年5月に一部開院）を迎えることができました。関係各位の御尽力の賜物と感謝いたします。

当院は、昭和24年の開院以来、市民の皆様にご信頼され、安心してかかる病院づくりを念頭に、温かい心とやさしい手、確かな技術をもって、患者様を中心としたチーム医療に取り組んで参りました。2010年12月の救急指定以降は救急受け入れ件数も大幅に増加させることができ、公立病院としての責務はもとより、地域医療の中核として、市民の安心を支える役割を果たして参りました。

このたび発刊する病院年報第41号は、2011年度の井田病院の軌跡が記録されております。2011年度は、新棟開院に向けて、さらに質の高い医療の提供を目指すべく、全職員が一丸となって臨んだ年でした。地域の医療機関の連携も進め、医療に携わるすべての機関が連携した、切れ目のない医療体制の構築に貢献したいと、決意を新たに取組んだ職員一人ひとりの日々の努力が、この年報にはいろいろな数字で示されています。成果のすべてを数字で示すということはありませんが、数字の変化は仕事をする上での励みとなり、各々の職員の質の向上につながるものと確信しております。

全ての職員が公立病院のあり方を再確認することで、当院がさらに発展することを願ってやみません。

最後に、年報作成にあたり御協力いただいた皆様と、編集に尽力された委員の皆様へ、敬意と感謝の念を表します。

病院長 長 秀男